

## 2018年度（第33回）レーザ安全スクールを実施

当協会は、第33回レーザ安全スクール第1期を2018年11月5日～9日、第2期を11月26日～30日に東京・芝公園の機械振興会館にて実施した。

本スクールはレーザ機器の普及に伴う機器取扱者の障害事故の発生を未然に防止するため、1983年に「レーザ機器導入・安全取り扱い講習会」としてスタートし、時代の変遷に伴い「レーザスクール」、「レーザ安全スクール」と改称し、本年度「レーザ安全スクール」として33回目となった。この間、内容も日本工業規格であるJIS C 6802「レーザ製品の安全基準」および関連する個別規格の改正に対応した見直しを行うことで、最新の日本工業規格および厚生労働省・基発第0325002号「レーザー光線による障害の防止対策について」等を網羅し、光加工、光通信、レーザ医療等の各分野に従事するレーザ機器取扱者の障害事故の発生を未然に防止するために最新の規格に対応する内容とし、社会の要請に応えるものとした。

受講者数を各コース別に下表に示す。第1期と第2期との合計で受講者のべ人数は812名（昨年779名）と、3年連続の増加となった。また、複数コース受講者を1名とカウントした場合の参加人数は362名（昨年320名）、参加企業数は184社（昨年162社）といずれも増加している。レーザ製品の種類と利用者のすそ野が年々広がり続けていることが、受講者増につながっていると思われる。

また今年度は、レーザ初心者の受講が増えてきていることに対応し、本コース開講前に「やさしい光・レーザ入門」と題した予備講座をトライアルで開講した。26名の受講者からは「本コースの受講に役立った」と評価するコメントが寄せられた。

レーザ安全スクール コース別受講者数（）内は昨年：単位（名）

コース名	第1期	第2期	合計
Iコース：光・レーザ概論	31(37)	—	31(37)
S1コース：レーザ工学の基礎	77(61)	80(72)	157(133)
S2コース：レーザ安全の基礎	131(94)	135(148)	266(242)
S3コース：レーザ応用機器の安全	54(50)	54(55)	108(105)
S4コース：大出力レーザ機器の安全	65(56)	68(71)	133(127)
M1コース：レーザ安全管理者	80(79)	—	80(79)
M2コース：レーザ安全技術者	—	37(56)	37(56)
合計	438(377)	374(402)	812(779)

